

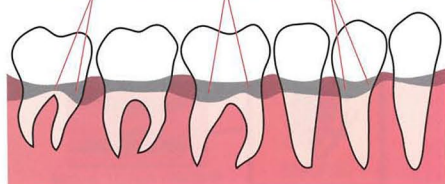


歯周病の検査と進行度

歯周病は自覚症状があらわれにくいいため、しっかり検査することが大切です。



歯周ポケットは部位ごとに深さが違い、出血や膿が出るなど状態も違います。



歯が丈夫な方は要注意

歯周病の進行状況はレントゲンで歯槽骨の状態を確認したり歯周ポケット（歯と歯ぐきの間に出来る溝）の深さを目盛りのついた器具で測定することで調べます。

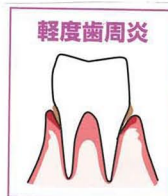
歯周病の進行度と症状



歯肉炎

歯周ポケット **3mm未満**

細菌により歯肉が炎症を起こし赤く腫れるが、見ただけではわからない場合も。



軽度歯周炎

歯周ポケット **3mm~5mm**

歯と歯肉の間にできた溝（歯周ポケット）に歯垢や歯石がたまる。歯ぐきから出血したり、膿が出たりし、歯槽骨（歯を支える骨）が溶け始める。



中等度歯周炎

歯周ポケット **5mm~7mm**

炎症が進行して歯と歯肉の間にできた溝（歯周ポケット）が深くなる。血や膿が出て、口臭もひどくなる。歯槽骨がかなり溶けて、歯を指で押すと弱干ぐらうしてきます。



重度歯周炎

歯周ポケット **7mm以上**

歯槽骨（歯を支える骨）がほとんどなくなり歯のぐらぐらも著しくなり抜けることも。歯肉も全体的に真っ赤もしくは赤紫色になり出血も認められます。

タバコ、ストレス、不規則な生活習慣は歯周病の進行を助長したり、治りを悪くしますので気をつけましょう。



歯周病の治療

歯周病の治療は、歯科医院スタッフと患者様の協力が大切です。

歯周病治療の基本的な流れ

1 検査。歯周ポケットの測定、レントゲンなど



2 歯に付着した歯石（細菌）を取り除く



3 歯周ポケットの深さを測定、改善具合を確認



4 改善が見られない部分はさらに深い部分の歯石を取り除く。改善するまで③④を繰り返す



※状態によっては外科的な治療を行う場合もあります。



歯周病の原因は、歯と歯ぐきの境目にたまったプラーク（歯垢）の中の細菌です。基本的な治療の流れは、検査⇒歯石除去などの治療⇒検査⇒治療を、歯ぐきの状態が改善するまで繰り返します。



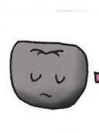
その他、必要に応じて行う治療



歯磨き指導



咬み合わせの調整



不適な被せ物などのやりかえ



生活指導（タバコやストレスはNG）

治療にあたって

歯周病は長い期間を経て進行したもので治療も根気が必要です。治療途中でやめてしまって、再度ご来院された時は症状が悪化しているといったことも少なくありません。



歯周病の治療は歯科医院での治療だけでなく、患者様による正しい歯磨きや生活習慣の改善など歯科医院スタッフと患者様が協力し合うことが重要です。

ホームケア
ハッチリ歯磨き



プロケア
ハッチリフォロー